

		ふるさと・コミュニケーション科の目標		
		ふるさとの自然や歴史、文化、人々の営みを横断的・総合的に学ぶことを通して、ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとを誇りに思い、ふるさとに尽くそうとする心を養う。また、異年齢集団での学びや地域の人々との交流等を通して、豊かな表現力やコミュニケーション力を高める。		
児童・生徒の実態		ふるさと・コミュニケーション科で育てたい3つの資質・能力		
○ 明るく、素直である。 ○ 誠実である。 ○ 協調性がある。 ○ 面倒見が良く、異年齢集団でも仲良くできる。  ● 主体性に欠ける。 ● 表現力がやや乏しい。 ● 創意・工夫する力が足りない。 ● 学習意欲は旺盛であるが、応用力を身に付けたり、競い合ったりする意欲に欠ける。		A ふるさとのよさやすばらしさについて具体的に理解する。 ふるさとに関わる知識や技能を見に付ける。 B 自分の思いや考えを豊かに表現する。豊かな言語力をもとに互いの思いや考えを伝え合う。 C 望ましい人間関係を形成する。自分なりのふるさと観を高める。		
		里中学校区で育てたい児童・生徒像		
		◎ 相手を尊重し、信頼関係を築くことができる児童・生徒 ◎ 目的や状況に応じて、適切で説得力のある表現ができる児童・生徒 ◎ 意見の交換を通して、よりよい結論を見出すことができる児童・生徒 ◎ よりよい社会について考え、自らの将来を決定できる児童・生徒		
各期の目標	時数	「ふるさと」を考える	「生き方」を考える	
発展期（後期） 8・9年（中2・3）  里を「生かし、生き方を創造する」学習	9年  80	「ふるさと」を生かす  ～地域・社会に貢献しようとする力～  主な単元（活動名） ○ 「島立ち」をつくらう ・ 原料芋栽培 ・ 焼酎づくり体験		「生き方」を創造する  ～将来について考えを深め、設計に生かす力～  主な単元（活動名） ○ 夢や希望を持って ・ 上級学校説明会 ・ 職場訪問 ○ 今、私たちにできること ・ ボランティア活動 ・ 島立ちを前に
◇ 自分のものの見方や考え方を深め、説得力のある表現の仕方を工夫させるとともに、人や社会に積極的に関わろうとする態度を養う。	8年  80			
対応期（中期） 5～7年（小5～中1）  里を「知る・味わう・伝える」学習	7年  60	「ふるさと」を味わう  ～歴史を知り、思いを引き継ぐ力～  主な単元（活動名） ○ わたしたちにできるボランティア【5～6年】 ○ 磯餅焼き+里の魚から学ぼう【1～6年】 ○ 海をきれいにしよう【1～6年】 ○ 島だちをつくらう【7年】		「生き方」を知る  ～自己を見つめ、コミュニケーションを味わう力～  主な単元 ○ 「ふるさと甑島」(中期調べ学習)【5～7年】 ○ もうとう！夢【5年】 ○ 卒業プロジェクト【6年】 ○ わくわく座談会【6～7年】 ○ 宿泊学習・修学旅行【5～6年】 ○ 陸上記録会・社会科見学【5～6年】
◇ 自分の考えを大切に、目的や場面に応じて適切に表現する力を身に付けさせるとともに、よりよい人間関係を築こうとする心情や態度を養う。	6年  70			
	5年  70			
基盤形成期（前期） 1～4年（小1～小4）  里に「ふれる・親しむ」学習	4年  70	「ふるさと」に親しむ  ～自然にふれ、郷土の良さを発見する力～  主な単元（活動名） ○ 米作りを学ぼう【3～4年】 ○ あきとともだち【1年】 ○ 磯餅焼き+里の魚から学ぼう【1～4年】		「生き方」にふれる  ～身近な人たちと親しみを持って接する力～  主な単元（活動名） ○ もや一でえいきもうそい【4年】 ○ お父さんお母さんの仕事【3年】 ○ おもちゃ大会をしよう【2年】 ○ もうとう！夢+海をきれいにしよう【3～4年】
◇ 表現の基礎を身に付けさせるとともに、身近な人々や身の回りのものに対して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を培う。	3年  70			
	2年  15			
	1年  15			

※ 活動については、1年生から9年生まで通したものや前期・中期・後期をそれぞれまたいだものもあるが、「4・3・2制」による交流活動の推進を意識して上記の表を作成している。